

YAMAHA

パワーアンプファイアー

MA2030

PA2030

ZJ11140 JA
保証書付

取扱説明書

このたびは、ヤマハパワーアンプファイアーMA2030/PA2030をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。MA2030/PA2030のさまざまな機能を十分にご利用いただくために、ご利用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- 本書ではMA2030 独自の内容を **MA**、PA2030 独自の内容を **PA** で示します。マークがない場合、共通の内容です。
- アンプのイラストは主にMA2030を使用しています。必要に応じてPA2030のイラストを併載しています。

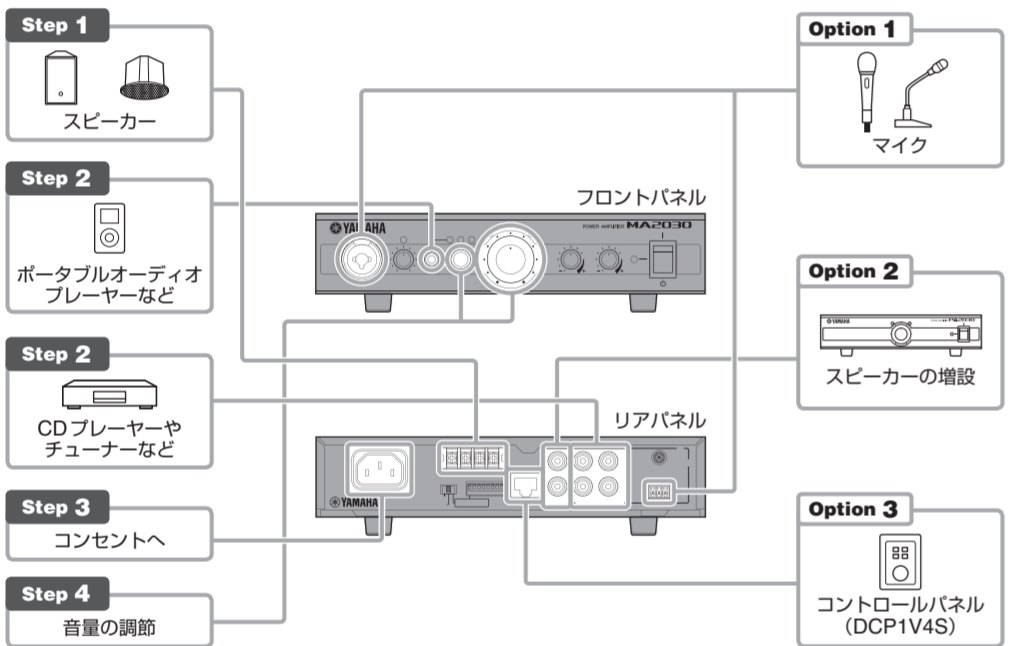
特長

- ハイインピーダンス接続とローインピーダンス接続のスピーカー接続に対応
- デジタルプロセッサー(フィードバックサプレッサー、ダッカー、レベラー)搭載 **MA**
- 拡張用アンプPA2030により、スピーカーの追加接続が可能 **MA**

付属品(お確かめください)

- 電源コード
- ユーロブロックプラグ(3ピン、3.5mmピッチ、**MA** 1個、**PA** 2個)
- Technical Specifications(英語のみ): ブロック図、寸法図、入出力仕様を記載しています。
- 取扱説明書(本書): 保証書が裏面にあります。

セットアップ



Step 1 スピーカーを接続する

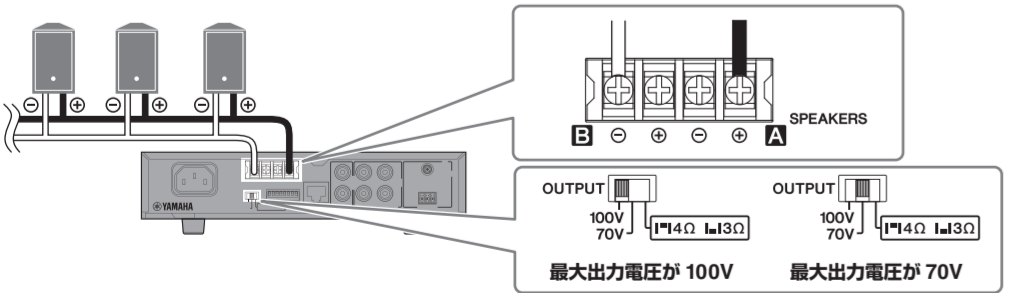
スピーカーの接続方法(ハイインピーダンス接続とローインピーダンス接続)、種類、設置場所に合わせて本機の設定を変えてください。紙面右端の「スピーカーケーブルの接続」や以下のURLにあるハイインピーダンス接続などの説明を参照してください。

ヤマハプロオーディオサイト「商業空間のよりよい音作り」:
http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/training_support/better_sound/

注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源がオフになっていることを必ず確認してください。オンになっていると感電するおそれがあります。
- スピーカーケーブルに荷重がかからないように設置してください。
- ハイインピーダンス接続の場合、接続するスピーカーの定格入力の合計は60Wに対して余裕を持たせてください。
- ローインピーダンス接続の場合、接続するスピーカーの合成インピーダンスが3Ω未満にならないようにしてください。

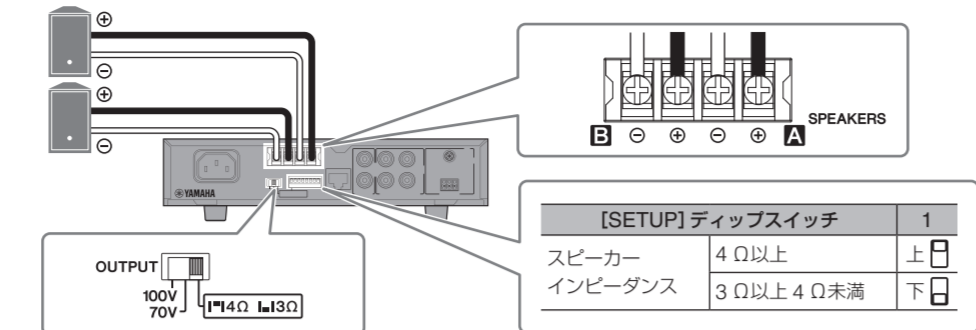
■ ハイインピーダンス接続(60W×1チャンネル)



- [OUTPUT]スイッチを[100V]にして、スピーカー出力をハイインピーダンスに設定する。
- [SPEAKERS A] ⊕端子とスピーカーの+端子、[SPEAKERS B] ⊖端子とスピーカーの-端子をスピーカーケーブルで接続する。
ハイインピーダンス接続の場合、[SPEAKERS A] ⊖端子と[SPEAKERS B] ⊕端子は使用しません。何も接続しないでください。

Note ハイインピーダンス設定時は、スピーカーへの出力にハイパスフィルター(80Hz、18dB/oct.)が常にかかります。

■ ローインピーダンス接続(30W×2チャンネル)



- [OUTPUT]スイッチを[4Ω 3Ω]にして、出力をローインピーダンスに設定する。
- 接続するスピーカーの仕様に合わせて[SETUP]ディップスイッチ 1 を[4Ω](上)、インピーダンスが4Ω以上または[3Ω](下)、インピーダンスが3Ω以上4Ω未満)に設定する。
- [SPEAKERS A] ⊕/⊖端子と1台めのスピーカーの+/-端子、[SPEAKERS B] ⊕/⊖端子と2台めのスピーカーの+/-端子をスピーカーケーブルで接続する。

■ スピーカー出力信号の設定

ヤマハ設備用スピーカーの接続

[SETUP]ディップスイッチ4/5

[SETUP]ディップスイッチ4と5を設定すると、出力信号がヤマハ設備用スピーカーに最適な周波数特性になります。

[SETUP]ディップスイッチ	4	5
ヤマハ設備用スピーカー	壁取り付け型 天井埋め込み型	上 下
ヤマハ以外のスピーカー	上 下	上 下

—: 設定不要(上下どちらでも可)

モノラル/ステレオ出力の設定

[SETUP]ディップスイッチ7

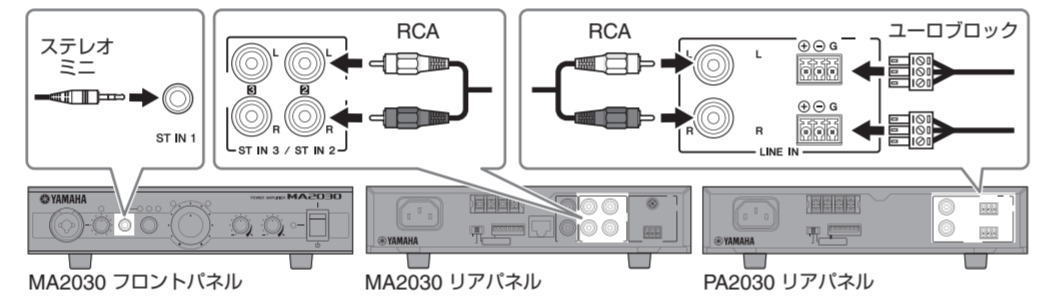
ローインピーダンス接続の場合に、スピーカーをステレオ配置するときには、ステレオ出力に設定してください。

[SETUP]ディップスイッチ	7
ハイインピーダンス接続	— モノラル出力
ローインピーダンス接続	上 モノラル出力 下 ステレオ出力(*1)

—: 設定不要(上下どちらでも可)

*1: ステレオ出力時、[SPEAKERS A] 端子からLチャンネルの信号、[SPEAKERS B] 端子からRチャンネルの信号が出力されます。

Step 2 外部機器を接続する



BGMチューナー、CDプレーヤー、ポータブルオーディオプレーヤーなどを、本機のステレオ入力端子に接続してください。

端子の位置	端子名称	端子の種類
MA2030 フロントパネル	[ST IN 1] 端子	ステレオミニタイプ(アンバランス入力)
MA2030 リアパネル	[ST IN 2] 端子 [ST IN 3] 端子	RCAピコ(アンバランス入力)
PA2030 リアパネル	[LINE IN] 端子	ユーロブロック端子(バランス入力、付属のユーロブロックプラグを使用して接続)、RCAピン(アンバランス入力)

Note ユーロブロックプラグの取り付け方法は、「ユーロブロックプラグの取り付け」を参照してください。

- 本機と接続する機器の電源が切れていることを確認する。
- 本機と外部機器を適切なケーブルで接続する。

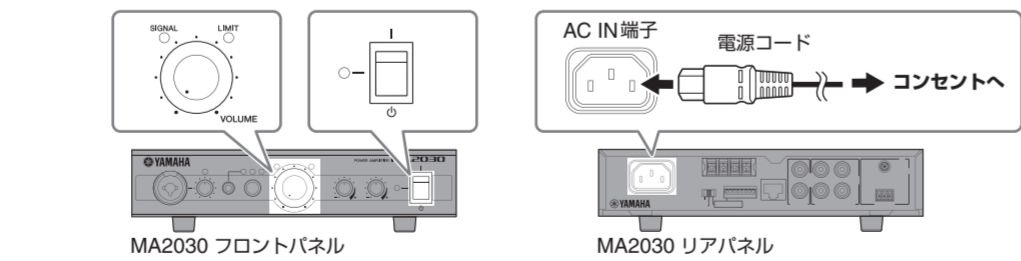
レベラー(再生音量のぼつつきを抑える)

[SETUP]ディップスイッチ6 **MA**

BGMを流しているときに、外部機器からの入力音量が急に変化しても、再生音量が大きく変化しないようにします。

[SETUP]ディップスイッチ	6
レベラーが無効	上
レベラーが有効	下

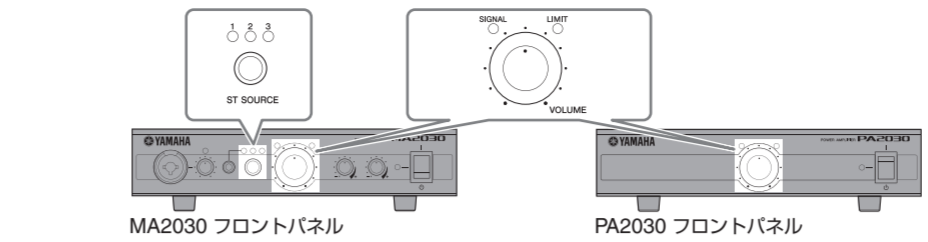
Step 3 電源コードを接続して電源を入れる



- 本機と本機に接続した機器の電源スイッチがオフになっている(⏻側に倒れている)ことを確認する。
- [VOLUME]ノブを左いっぱいに戻す。
- 付属の電源コードをリアパネルのAC IN端子に接続する。
- 電源プラグをコンセントに差し込む。
- 接続した機器(ポータブルオーディオプレーヤー、CDプレーヤーなど)の電源を入れた後、本機の電源スイッチをオンにする。

Note 電源を入れる前に配線などに問題がないか確認してください。
電源を切るときは、本機、接続した機器の順に切ってください。

Step 4 音量を調節する



- [ST SOURCE]ノブを回して、ステレオ入力信号を選ぶ。**MA** 選んだ入力信号に対応した[ST SOURCE]インジケータが点灯します。
- 外部機器から音声信号を入力しながら、[VOLUME]ノブを少しずつ右に回しスピーカーから音が出ることを確認する。
[VOLUME SIGNAL]インジケータが点灯し、スピーカーから音が出ることを確認します。

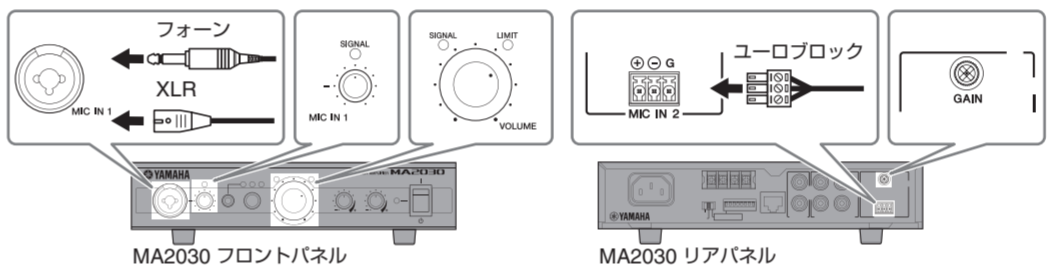
外部機器(マイクを含む)の音量の違いを揃える **MA**

複数の外部機器やマイクを接続した場合、音量が大きい機器を小さい音量の機器(またはマイク)に合うように調整できます。マイクを使用する場合は、以下の作業の前に「Option 1 マイクを使用する」を実施してください。

- [ST SOURCE]ノブを回して音量が大きいステレオ入力を選ぶ。
- [ST SOURCE]インジケータが点滅するまで[ST SOURCE]ノブを長押しする。
- [ST SOURCE]ノブを左に回し、最も小さいステレオ入力(またはマイク)の音量と同じ程度まで下げる。
音量が小さくなるほど、[ST SOURCE]インジケータの点滅は遅くなります。
- [ST SOURCE]ノブを押し、調整を終了する。
[ST SOURCE]インジケータが点灯状態になります。

Note 調整範囲は、-18dB ~ 0dBです。

Option 1 マイクを使用する **MA**



- [MIC IN 1]ノブ/[MIC IN 2 GAIN]トリマーを左いっぱいに戻し、[MIC IN 1]端子/[MIC IN 2]端子にマイクを接続する。
- [VOLUME]ノブを2時の位置にする。
- マイクに向かって大きめの声を出し、音声歪まない程度に[MIC IN 1]ノブ/[MIC IN 2 GAIN]トリマーを右に回して上げる。
通常使用する程度の声量で話し、スピーカーから出る音声がい小さいときは、[VOLUME]ノブで音量を上げてください。スピーカーからの音声がい大きいときは、[MIC IN 1]ノブ/[MIC IN 2 GAIN]トリマーで音量を下げてください。
- 外部機器から信号を入力して、マイクの音声とそれぞれの外部機器の音量を揃える。
揃える方法は、Step 4の「外部機器(マイクを含む)の音量の違いを揃える」を参照してください。

Note • [MIC IN 2 GAIN]トリマーを調整する際は、マイナドライバーを使用してください。
ユーロブロックプラグの取り付け方法は、「ユーロブロックプラグの取り付け」を参照してください。
入力信号には、不要な低域をカットするためのハイパスフィルター(120Hz、12dB/oct.)とハウリングを抑えるフィードバックサプレッサーが常にかかります。

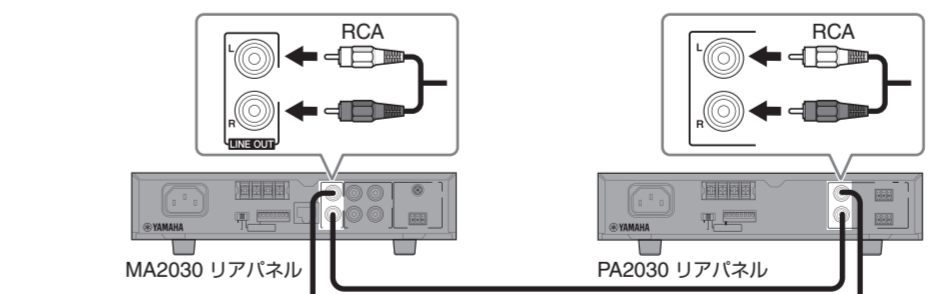
ダッカー(マイク入力時にそれ以外の入力信号の音量を自動的に下げる)

[SETUP]ディップスイッチ2/3

端子	[MIC IN 1]	[MIC IN 2]
[SETUP]ディップスイッチ	2	3
ダッカーが無効	上	上
ダッカーが有効	下	下

Note • [MIC IN 1]端子と[MIC IN 2]端子の両方のダッカーが有効な場合は、[MIC IN 1]端子が優先されます。
• ダッカーが動作すると、ステレオ入力が24dB下がり、もう一方のマイク入力が消音されます。

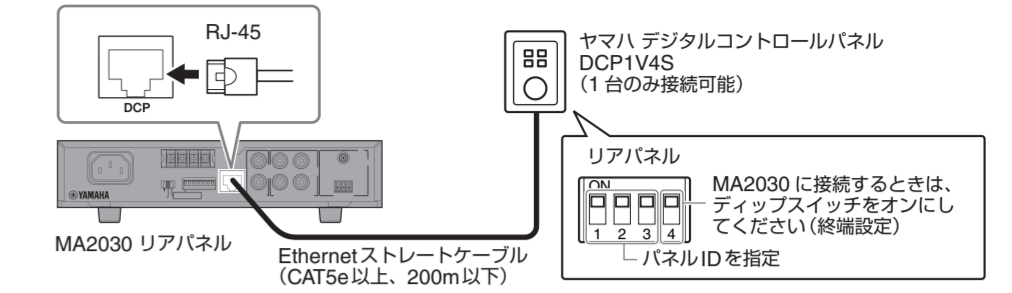
Option 2 スピーカーを増設する



MA2030をPA2030と接続することで駆動できるスピーカーの本数を増やすことができます。MA2030の[LIN OUT]端子とPA2030の[LIN IN]端子を接続してください。

Option 3 コントロールパネルで操作する **MA**

ヤマハ デジタルコントロールパネル DCP1V4SをMA2030に接続すると、離れた場所から音量の調節や入力の切り替えなどができます。



パネルID	ディップスイッチ 1 2 3 4	ノブ	スイッチ 1	スイッチ 2	スイッチ 3	スイッチ 4	音量: [SPEAKERS] 端子と[LIN OUT] 端子に出力する音量を調節します。 ステレオ 1/2/3: ステレオ入力1/2/3に切り替えます。 マイク 1/2: マイク入力1/2をオン/オフします。マイクがオンのときは、DCP1V4Sのスイッチのインジケータが点灯し、ステレオ入力を消音します。 • パネルIDが3の場合、マイクをオンにしてもステレオ入力を消音しません。 • パネルIDが7の場合、スイッチを押している間、マイクがオンになります。 ノ: マイクをオン/オフするときにはチャムが鳴ります。 一: 動作しません。(機能が割り振られていません。)
0	□□□□	—	—	—	—	—	
1	□□□□	ステレオ 1	ステレオ 2	ステレオ 3	—	—	
2	□□□□	マイク 1	マイク 2	マイク 1	マイク 2	—	
3	□□□□	マイク 1	マイク 2	マイク 1	マイク 2	—	
4	□□□□	マイク 1	—	マイク 1	—	—	
5	□□□□	マイク 2	—	マイク 2	—	—	
6	□□□□	マイク 1	マイク 2	—	—	—	
7	□□□□	マイク 1	マイク 2	—	—	—	

Note DCP1V4Sの設置方法は、「DCP1V4S 取扱説明書」を参照してください。

スピーカーケーブルの接続

リアパネルにある[SPEAKERS]出力端子はバリアストリップタイプです。Y型プラグを使った接続と、芯線がむき出しの場合の接続を説明します。

注意

スピーカーケーブルに荷重がかからないように設置してください。

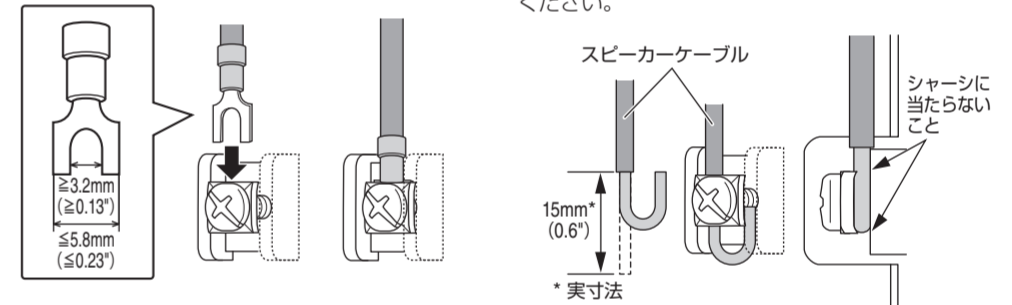
Note アンプとスピーカーの+/-を一致するように結線してください。逆にすると位相が反転するため、音が正しく出ません。

Y型プラグの場合

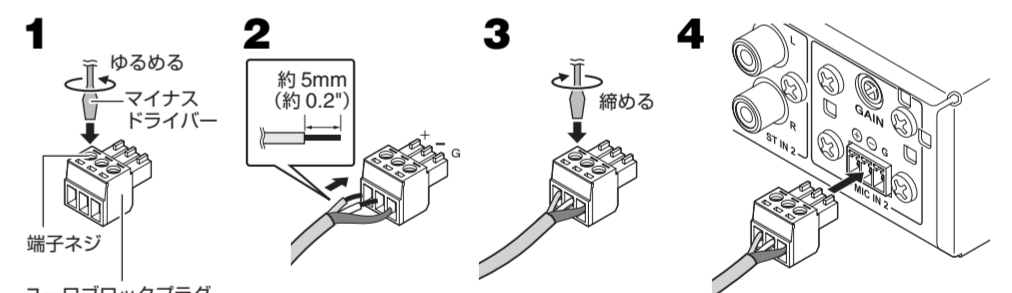
ネジをゆるめ、Y型プラグを奥まで差し込み、プラグが脱落しないようにネジを締め付けます。

芯線がむき出しの場合

ネジをゆるめ、芯線をバリアストリップ端子に巻きつけ、ケーブルが脱落しないようにネジを締め付けます。芯線がシャーシに当たらないように注意してください。



ユーロブロックプラグの取り付け



Note • 付属のユーロブロックプラグを必ず使用してください。紛失した場合は、ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
ユーロブロックプラグに取り付けるケーブルには、より線を使用し、図のようにむき出して配線してください。また、ユーロブロックでの配線は、ケーブルの重さや振動による金属疲労により、より線が切れやすくなる場合があります。ラックマウント時は、できるかぎり束線バーなどを使用してケーブルを結束して固定してください。
• より線には、はんだめっきしないでください。

- 端子ネジをゆるめる。
- ケーブルを差し込む。
- 端子ネジをしっかりと締め付け、ケーブルを少し引っ張り抜けないことを確認する。
- ユーロブロックプラグをMA2030の[MIC IN 2]端子またはPA2030の[LIN IN]端子に取り付ける。

パネルロック

意図せず触れたり第三者に操作されたりしても機器の動作に影響しないように、ノブによる変更をロックできます。ロックできるのは、[ST SOURCE]ノブ、[SOURCE EQ BASS]ノブ、[SOURCE EQ TREBLE]ノブです。

- [ST SOURCE]ノブ、[SOURCE EQ BASS]ノブ、[SOURCE EQ TREBLE]ノブを固定したい設定に調整する。
- 電源を切る。
- ディップスイッチ 8 を下にする。
- 電源を入れる。

Note ロックを解除する場合は、電源を切り、ディップスイッチ 8 を上にして、電源を入れ直してください。

